

令和6年度（2024年度）
社会福祉法人いなほ福祉会 通園めだか 事業報告

1. 利用登録者数と利用実績（令和7年3月末）

【利用登録者数】 24名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	22	22	24	19	21	24	22	22	21	20	19	256日
延利用人数	358	428	457	425	389	400	492	416	428	401	390	401	4,985人
1日平均	17.9	19.5	20.8	17.7	20.5	19.0	20.5	18.9	19.5	19.1	19.5	21.1	19.5人

令和5年度 延利用人数 4,416人 1日平均 17.1人

【送迎利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	358	416	480	492	391	445	544	452	470	464	440	430	5,382人

令和5年度 延利用人数 4,974人

【保育所等訪問支援 利用登録者数】 0名

令和5年度 延利用人数 0人

【計画相談 利用登録者数】 40名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
継続支援	1	0	0	1	0	26	4	1	3	1	0	5	42人
計画作成	11	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	27	43人

令和5年度 延利用人数 継続支援 68人 計画作成 36人

【個別療育実績数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
めだか通園児	2	7	11	10	10	10	6	8	10	14	4	3	95人
上記以外	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	5人

2. 職員体制

職 種	定数	現員
管理者	1名	1名（兼務）
児童発達支援管理責任者	1名	1名
相談支援専門員	1名	1名（兼務）
訪問支援員	1名	2名（兼務）
保育士または 児童指導員	6名	5名 7名（2名兼務）

機能訓練担当職員		2名（兼務）
指導員		3名（2名兼務）
看護職員		2名（兼務）
給食調理員	1名	3名（1名兼務）
送迎運転手		2名（1名兼務）
送迎添乗員		1名
管理栄養士（契約職員）		（1名）
嘱託医（嘱託職員）	（1名）	（2名）
合 計	11名 （1名）	22名 （3名）

3. 今年度の重点方針

①児童発達支援センターの機能強化に努めます

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定をうけて、これまで以上にセンターの機能強化が求められるようになりました。新たに『中核機能強化加算』という新設の加算も創設され、市町村が地域の障がい児支援の中核拠点として位置付けるセンターにおいて、専門人材を配置して、専門的な支援の提供に取り組んだ場合に算定できることになりましたが、中核機能強化加算を取れるだけの人員は配置できず、加算取得には至りませんでした。

令和6年度につきましても、市町から委託を受けて、心理職による発達検査、言語聴覚士による言語のアセスメントの実施を行い、発達検査は年間67件、言語のアセスメントは年間29件の依頼があり、地域の社会資源の1つとして定着しています。また、すくすく子育て相談室やことばの相談室を開設することで、子育てで困った時に相談できる機関としての役割も果たすことができました。

保育所への支援としては、紀宝町の保育所の先生方の研修会に同席させていただいたり、通園の大事にする保育を公開保育という形で紀宝町内の保育所で実践したり、今までにない協力関係での研修を行うことができました。今後も継続して取り組む中で、地域の保育の質の向上に努めていきます。

②主任を中心に保育全体の質の向上に努めます

令和6年度は主任がグループの担当を持たず現場から一步引いて見る事で多方面からの視点で保育を捉える事ができ、グループリーダーと話をしながら保育の質の向上に努めました。職員会議ではそれぞれのグループリーダーが子ども一人ひとりの様子や集団の様子、翌月のねらいなどを例年より細かく文章で上げ、必要な手立てや支援の方向を主任、管理者と共に話し合い、会議に参加していない職員は議事録で確認する事で意思統一を行い、職員それぞれが同じ方向をむいた支援の実現に努めました。また、現場職員全体の会議を必要時に行い、経験年数の短い職員が日々の保育の中でゆっくり聞けない事や保育の意味を主任やベテラン職員が答える事で、通園の大事にしている保育・療育の柱を現場の職員で共有することができ、保育全体の質の向上に繋がりました。

③5領域とのつながりを明確化した支援プログラムを作成します

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を含めた総合的な支援を提供することを基本とし、支援内容について事業所の個別支援計画等において5領域とのつながりを明確化した上での提供が求められるようになり、個別支援計画の書式の変更を行いました。

また、5領域とのつながりを明確化した事業所全体の支援内容を示す支援プログラムの作成と公表が義務付けられることとなり、これまで実施してきた集団療育のプログラムを、5領域とのつながりを明確化した上で通園の支援プログラムを作成し、県への提出とホームページへの掲載、保護者への周知を行いました。

④専門職の配置を進めます

児童発達支援センターとして専門職の配置を進めるべく、就職フェアへの参加や関係のある人材に出会える機会を模索しましたが、配置には至りませんでした。

財政的な面でも、全ての専門職を常勤で配置することは難しいことから、地域で活躍する専門職と連携した取り組みができないか模索し、熊野病院（精神科病院）ときなん苑（介護老人保健施設）の2か所の組織の専門職の方々とのつながりを作ることができました。令和7年度以降、実際の事業やケース検討を通して、子どもに対応できる専門職の人材育成に努めていきます。

4. 保護者学習会の実績報告

日程	内容	講師
5月28日	通園の保育の意味	通園めだか 主任 寺地 有未
6月4日	障がいのある子どもの為の教育	三重県自閉症・発達障害支援センター れんげ 堀口佳子氏
6月25日	ことばのねっこ	通園めだか 言語聴覚士 福田 尚子
7月2日	就学の先輩の話	先輩保護者3名
8月27日	障がいとのつきあい方	京都武田病院 一井 愛理子氏
9月24日	転園の先輩の話	転園の先輩保護者5名
10月22日	発達の道筋	通園めだか 臨床心理士 榎 みお
11月26日	幼児期の栄養について	通園めだか 管理栄養士 奥田 陽子氏
12月24日	いなほ福祉会バスツアー	法人各事業所の管理者および担当者
1月28日	睡眠の学習会	くまのこころのクリニック 西山直子氏
2月25日	障がいについて	通園めだか 臨床心理士 榎 みお

5. 緊急時の対応

日付	緊急時対応の状況およびその後の経過
11月27日（水）	自由遊び中に振り向きざまに他児と接触。歯茎からの出血があることから、紀南病院口腔外科を受診。レントゲン撮影の結果、歯は折れておらず脱臼とのことで、診察は終了。その後しばらく、食事は硬いものを取らないように配慮し、快方に向かう。
9月13日（金）	午睡後、窓で右手指を詰める。指が動くかと爪の状態の確認をしたが、変化は見られなかったのものでそのまま帰宅。その後の様子を確認しに自宅訪問すると、少し腫れが増している状態だったため、翌日再度自宅訪問して腫れの状態を確認する。前日より腫れが増していたことから、整形外科を受診。レントゲン撮影の結果、骨に異常はないとのことで、受診は終了。その後快方に向かう。

6. 事故発生時の対応

日付	事故等の発生状況およびその後の経過（損害保険利用状況等）
6月20日（木）	自由遊び後の玩具の片付け時にプラスチックのショベルを片付けようとしていたところ転倒。ショベルが歯にぶつかる。歯茎からの出血と歯のぐらつきがあることからかかりつけ医の歯科を受診。レントゲン撮影の結果、折れてはおらず脱臼であろうとの診断。歯の変色があることから6月28日に再度受診。歯の変色は変わりなく、前回に比べてぐらつきが少なくなっていることから、受診は終了。数回に渡り受診が必要だったことから、損害保険を利用し見舞金を支払った。
10月15日（火）	自由遊び中、園庭前のテラスから園庭へ降りる時に、他児とぶつかり転倒。尻もち後に、半円状に出っ張っているコンクリートに頭を打ち左側頭部から出血。5～7mmの傷があることから、紀南病院脳神経外科を受診。テープラー（ホチキスのようなもの）で傷口を固定する処置を行う。化膿止めの抗生剤1日分処方あり。10月21日に再度受診し、抜鉤。経過が良いことから、受診は終了。数回に渡り受診が必要だったことから、損害保険を利用し見舞金を支払った。

7. 虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成 0名

【虐待案件】 0件

【身体拘束発生案件】 0件

8. 苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

9. 職員（援助者）の援助技術の向上

（1）職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	5回開催
・職員会議	→	12回開催
・個別支援計画策定会議	→	8回開催
・モニタリング会議	→	7回開催
・ケース会議	→	2回開催
・給食会議	→	5回開催

（2）職員研修の実績報告

【内部研修】

日程	主催	研修内容	講師	参加人数
5月2日	いなほ福祉会	コミュニケーションの苦手な子どもたち・こだわりの強い子どもたち	浜松学院大学短期大学部 志村 浩二先生	9名
6月18日	通園めだか	救命救急講習	紀宝消防職員1名	9名

6月29日	いなほ福祉会	虐待防止・権利擁護研修	法人職員	14名 7名
9月15日	いなほ福祉会	生涯研修課程テキスト 管理職員編	テキスト研修	1名
9月19日	いなほ福祉会	防災教育と業務継続計画の周知	那智勝浦町 藤社氏・汐見氏	6名
9月30日	いなほ福祉会	防災教育と業務継続計画の周知	那智勝浦町役場 柴田 通仁氏	5名
10月27日	いなほ福祉会	生涯研修課程テキスト 中堅職員編	テキスト研修	1名
11月20日	いなほ福祉会	保育現場で活かす接遇スキル	京都武田病院 一井 愛理子氏	5名
1月27日	通園めだか	発達の学習①～④	動画研修	1名
2月27日	いなほ福祉会	能登半島地震被災地支援の体験談を聞く	いなほ作業所 平澤 学	2名

【外部研修】

日程	主催	研修内容	講師等	参加人数
5月11日	紀宝町	保育とリズム運動	矢野 久美先生	6名
7月30日	発達支援部会	学習につながる基礎の力	通園めだか 福田 尚子 ST	6名
6月16日	人間発達研究所	発達入門コース第1回	大津市発達相談員 高田 智行氏	1名
7月28日	人間発達研究所	発達入門コース第2回	大津市発達相談員 高田 智行氏	1名
8月18日	人間発達研究所	発達入門コース第3回	大津市発達相談員 高田 智行氏	1名
9月 7日	新宮市	多角的な視点でこどもを支援する	よつ葉福祉会 井邊 一彰氏	1名
9月17日	三重県	三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修	三重県社会福祉協議会	1名
9月15日	人間発達研究所	発達入門コース第4回	大津市発達相談員 高田 智行氏	1名
10月 1日	NPO 法人えがお	障害のある子どもの発達と支援	神戸大学 赤木 和重先生	6名
10月20日	人間発達研究所	発達入門コース第5回	大津市発達相談員 高田 智行氏	1名
11月12日 ～13日	三重県	児童発達支援管理責任者更新研修	三重県社会福祉協議会	1名
11月20日	和歌山県社協	コーチングプラス研修	オフィスカナン 山田 奈津美氏	1名
12月26日	三重県	三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修	三重県社会福祉協議会	1名
1月17日	厚生労働省	業務管理体制整備に関する事業者	厚生労働省職員	1名

		向け講座		
1月30日	発達支援部会	読み書きについて	通園めだか 福田 尚子 ST	5名
2月 1日	人間発達研究所	人間発達講座	滋賀大学 白石先生他	4名
2月 4日	紀南母子	子どもたちへの災害時の救急対応	相野谷診療所 森本 真之助医師	6名
2月21日	発達支援部会	検査結果から見える子どもの姿・ 子どもの特性	浜松学院大学短期大学部 志村 浩二先生	4名
2月27日	三重県通園施設 等連絡協議会	気になる子どもの理解と対応	関西福祉科学大学 丹葉 寛之先生 (OT)	1名

10. 年間行事

日 程	内 容
4月 3日 (月)	新年度保育開始
4月 5日 (水)	入園式
4月	在園児家庭訪問
4月30日 (火)	春の遠足 (田代体育館)
5月	新入児家庭訪問
6月15日 (土)	家族参観
7月19日(金)20日(土)	5才児お泊り保育
8月 3日 (土)	夏まつり (鮎田区共催)
8月12～15日	夏休み
9月2日(月)～6日(金)	保育開放週間
10月26日 (土)	運動会
10月～12月	個人懇談
12月17日 (火)	クリスマス会
12月29日～1月3日	冬休み
2月15日 (土)	生活発表会
3月 4日 (火)	お別れ遠足 (田代体育館)
3月10日 (月)	5才児おでかけ
3月25日 (火)	保護者懇談会 (卒園・転園式 保護者の部)
3月28日 (金)	卒園式
3月29日 (土)	転園児お別れ会・保育修了日